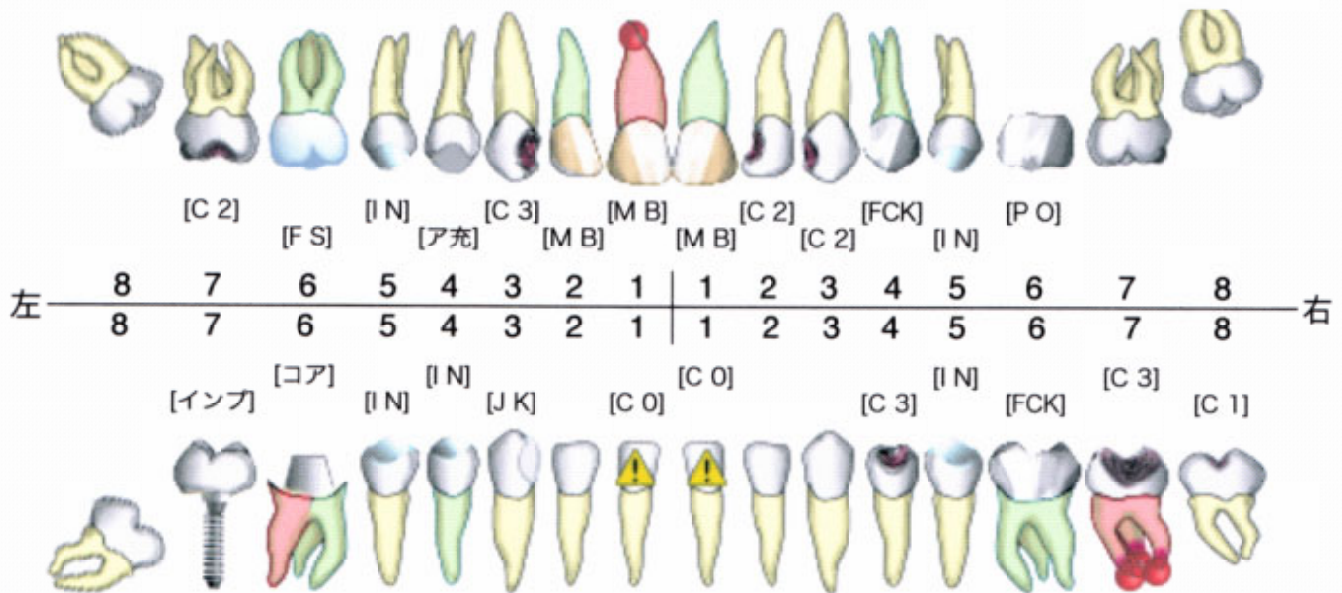


ムシ歯診断書

No. 82

●●●●様

検査日 2007.07.23 術前



- C0: C0は、放っておくとムシ歯になってしまう可能性があります。ムシ歯にならないよう予防しましょう。
- C1: 歯の表面のエナメル質に及んだ状態で、痛みは余り無く治療も極簡単です。
- C2: エナメル質よりも柔らかい象牙質にまで及んだ状態で、冷たいものがしみる等の自覚症状がでてきます。治療がやや複雑になり、麻酔を必要とすることもあります。
- C3: すでに神経にまで及んでいるため、痛みのため寝付かれないこともあります。炎症を起こしている神経を取り除く治療が必要です。
- 残根: C3が悪化した状態で、残根と表示しています。歯の表面はもとより内部の神経も破壊されており、元に戻すことはほぼ不可能なため、歯を抜くことが必要です。

あなたの歯の状態が絵で表示されています。

茶褐色で表されている部分が、ムシ歯の状態です。

奥歯に4本ムシ歯があります。

前歯に3本ムシ歯があります。

前歯は奥歯に比べ歯が薄いため、進行の程度もそれだけ深くなります。歯と同じ色をした材質のものでつめるか、場合によっては神経をとる治療が必要となります。

早く治療しましょう。

C1は極軽いムシ歯で、治療も簡単に済みます。

C2はつめる治療、または型をとって治す治療が必要です。

C3はムシ歯が神経にまで及んでいる歯です。激しい痛みが生じてからでは、治療にも回数がかかります。

いしい歯科クリニック

〒760-0005 香川県高松市宮脇町1-3-17

TEL 0120-18-6480